

学校運営協議会 (CS大崎)

令和8年6月25日作成 No. 2

令和8年6月25日の午後に、第2回学校運営協議会 (CS大崎) が開催されました。今年度は、津山市の「コミュニティ・スクール活性化モデル事業」をCS大崎が受けました。

【CS大崎の熟議内容】

- 1 開会 (会長)
- 2 コミュニティ・スクール活性化モデル事業
 - (1) CS大崎年間計画
 - (2) 講演会及び教職員との交流会 (7/22)
 - ・講師 安田 隆人 先生 (CSマイスター)
 - (3) 先進校視察
 - ・広島県府中市立栗生 (くりぶ) 小学校
- 3 熟議
 - (1) 学校運営協議会について
 - (2) I学期の振り返り
 - ①大崎小学校ランドデザイン
 - ②学力調査結果 (自校採点) について
 - ③学力向上に向けての具体的取り組み
 - ④みそあじ運動・その他の取り組み
(いじめ防止月間)
 - (3) その他
- 4 閉会 (副会長)



「大崎っ子の更なる育成」に向けて、CS大崎のメンバーを中心にご尽力・ご協力・ご支援をいただきます。

<大崎小学校の目指す子ども像>

- 学力をつけて、自分で考え意識し、行動・発言ができる子
- しっかりとあいさつができ、互いに思いやりを持って行動できる子
- 心身ともに健康で、健やかに生活できる子



コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) のメリット

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれてきます。
- 地域の中で子ども達が育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。
- 学校の現状について理解してもらえ、学校と地域の連携がより強くなります。